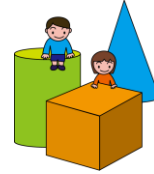


わくわく算数新聞



つつじが丘北小学校
算数少人数
平成 24 年 7 月 12 日
NO4

わくわく算数チャレンジ第2弾！！

この一学期の間、子供たちは、よく考え、進んで自分の考えを発表し、友達の発表をよく聞き、考える力を付けてきました。今、その成果を試す時！わくわく算数チャレンジ第2弾！1学期最後のチャレンジです。中学年は、立体、サイコロ問題。高学年は、5年生は 100 に関する問題。結果はどうだったでしょうか？ 正解者は、算数ルームの前に掲示します。

中学年

(初級) (中級) (上級)

①と②のブロックは、どちらがいくつ
おおいでしょうか？

() のブロックが
() つおおい。

1のうしろはもだね！

サイコロは向かい合う面を足すと7になっているよ。

サイコロを作りたいと思います。口に入る目をかきましょ。下の図にかきこみましょう。

サイコロを下図のように道にそってころがしていくと、さいこの黒い面では、サイコロの上の面の数はいくつでしょうか？

高学年

(初級) (中級) (上級)

下のように、右、左、右、左・・・と歩いていくと、100歩目は、右足になる？左足になる？

たて5cm、横10cmの紙を下のように、のりしろ2cmをとってつなげていきます。100枚つなげると、横の長さは何cm？

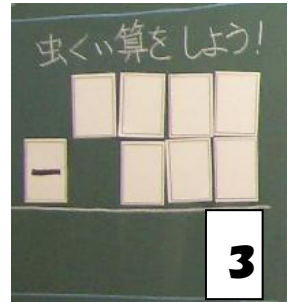
○と×が下のように並んでいます。100列目まで並べた時に、○と×の差はいくつになるでしょうか？



もうすぐ夏休み！！夏休みもいろいろなことにチャレンジしよう！

3年生 虫食い算をしよう!

「今日は虫食い算をしよう!」という、子供たちは大喜び。「虫食い算、得意なんだ!」「早く問題出してよ!!」子供たちは、やる気いっぱいです。そこで、一つずつカードを見せていきました。

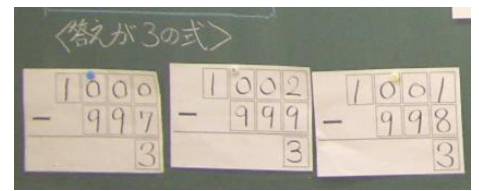


千の位は□!「なるほど〜。」百の位は□!「ふんふん。」十の位は□!「えー!」一の位も□!「えー!」そして、引き算です。引く数は、百の位は□!十の位も□!一の位も□!

「全部□だよ!」「そんなの解けないよ!」

「わかったー!答えが決まっているんだ!」するどい意見が出てきます。では、答えが3だったら?「これ、本当に式ができるの?」「たくさん式ができるんじゃない。」子供たちは、夢中になって考え始めました。

しばらくして聞いてみると、右のように3つの式が出てきました。「おもしろい!」「式が3つできた!」



すると子供たちから、つぶやきが聞こえてきます。

「答えが1だったら、どうなるんだろう?」

いいですね。一つ問題を解いたら、そこで満足せずに、自分で新しい問題を考えようとしています。子供のつぶやきを取り上げ、答えが1のものを考えるようにしました。

$$\begin{array}{r} \square \square \square \square \\ - \square \square \square \square \\ \hline \square \end{array}$$

「あれ?今度は、答えが1つしかない。」

じゃあ一次は?と聞くと「答えが5がいい!」と返ってきました。子供の声を受けて、黒板に「答えが5」と書くと……。

本望君と樋口君が手を挙げました。「先生、それ式が5個出来ると思うよ。だって、答えが3の時は、式が3個。答えが1の時は、式が1個。だったら、答えが5の時は、式が5個できるはずだよ。」

「なるほど〜。」多くの方がうなずいています。本当に5個になるかな?実際にやってみよう!

$$\begin{array}{r} \square \square \square \square \\ - \square \square \square \square \\ \hline \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \square \square \square \\ - \square \square \square \square \\ \hline \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \square \square \square \\ - \square \square \square \square \\ \hline \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \square \square \square \\ - \square \square \square \square \\ \hline \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \square \square \square \\ - \square \square \square \square \\ \hline \square \end{array}$$

「あっ、やっぱり式が5個できだ!」教室は大盛り上がり。

「答えが100だったら、式も100個できるよ。」といった声も聞こえてきます。

すると村澤君が、おもしろいことに気が付きました。「答えが5だったら、引かれる数は1000~1004になっています。答えが100だったら、引かれる数は1000~1099になるはずですよ。」

さらに政野さんも、引き算のきまりを発見しました。「引かれる数に1を足して、引く数に1を足すと答えが変わりません。答えを同じにするには、引かれる数と引く数に同じ数を足してあげればいいと思います。」

発表を聞いて「もう、答えがいくつでもできるぞ。」と自信満々な子供たち。授業が終わった後も「一つの虫食い算から、たくさんの意見が出てきて驚いた!」「今日の算数、楽しかった!」との声が聞こえてきました。